

議会だより みなかみ

令和6年
2024年
4月15日発行
78号
群馬県利根郡みなかみ町

人生の幸せが
得られますように



特集

令和6年度予算
議員の視点

3月定例議会

特集 議員の視点	2
本会議審議内容及び結果	4
一般質問	7
活動報告	14
2月臨時議会	16
まちの匠	17



バックナンバー
が見られます。



令和6年度 一般会計予算159億円

議員の視点

ココに注目

14人の議員が考える
町の課題、注視や
期待すること

阿部町長の提示した2年目の予算は、町民に寄り添いながらも前例や慣習にと
られず、事業の見直しに取り組み、持続可能なみなかみ町を目指すことを目的
に編成されました。議会は予算執行と併せ、健全な財政運営を進めているかにお
いても注視していきます。
[予算の概要はこちらから](#) →



魅力ある観光地づくり

新たな観光施設を効
果的に活用し、町の美
しい景観や豊富な観光
資源の魅力を積極的に
発信することが大切。



阿部 清 議員

ふるさと納税推進事業

事業の強化による情
報発信や関係人口の構
築。また、一般財源と
しての活用で各産業支
援や町内の課題解決に
期待。



鈴木 美香 議員

書かない窓口で負担減

行政窓口は手続きが
煩雑。DX化推進で町
民と行政の利便性が向
上。

特に高齢者の方の負
担軽減に期待。



高橋 久美子 議員

人口減少

町の人口は2050年に
8000人と予想される。

高齢者福祉も子育て
支援も行き届かなくな
る。若者が希望を持つ
町へ！



高橋 視朗 議員

農と観で食の連携！

旅行の楽しみはなん
といっても「食」。

食を生む農と食を消
費する観光との連携で
地域活性化。



江口 樹 議員

住みたい町を創る

町の令和6年度予算
159億円。

しっかりとした交通
インフラを行い、住み
たい町の交通の円滑が
重要。



河合 史将 議員

公営企業会計事業

上・下水道は生活に
直結する重要なインフ
ラ。安心・安全・安定
供給を担保し健全経営
を！



小林 洋 議員

町民に本当に必要なもの

子育て支援・高齢者
や障がい者福祉の充実
等、多岐にわたる項目
を網羅した予算。



森 健治 議員

最高の教育環境

誰かの困りごとに寄
り添える「人」を育む
環境を地域の人と共に
つくる。まちづくりは
人づくりが^{かなめ}要。



牧田 直己 議員

誰一人取り残さない

交通弱者を救済する
福祉タクシーの充実、ス
クールバスの通学利用
時間外の町民利用。



石坂 欣也 議員

159億円の有効活用

予算の効率的有効活
用に向けてチェック機
能を果たす。

事業の取捨選択によ
り無駄のない予算活用
に努力する。



石坂 武 議員

入りを量り出ずるを制す

限られた予算。
いかに選択・集中す
るかが重要。「必要であ
るか」よく考えられた
予算と思う。



高橋 市郎 議員

当初予算額総額

235億円となってい
て、前年度より19億円
増となっている。厳し
くチェックしていく。



星野 宗央 議員

観光はすべての架け橋

過去最高の当初予算。
魅力ある町、そして
住み良い町づくりには
観光資源を活かし、有
効的な投資が必要。



茂木 法志 議員

3月5日から14日までの会期で3月定例議会を開いた。
諮問1件、人事3件、契約1件、条例13件、その他3件、
補正予算2件、予算6件を審議した。
一般質問は6人であった(7/13頁)。

【反対】 星野宗央 議員
小中学校統合推進事業に16億7695万8千円計上。物価高騰、建設資材の高騰も想定され、費用はなるべく抑えるべき。全住民を対象とした物価高騰対策に対しても予算の計上を期待。

委員長・議長は採決に加わりません

請願

件名	請願人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
第1号 健康保険証の存続を求める請願書	健康保険証の存続を求める 利根沼田の会 代表 林 誠行 林 岩男 森下 佐太夫	総務文教厚生常任委員会 賛成少数 1:5 不採択すべきもの	賛成少数 1:11(欠1) 不採択

【反対】 森 健治 議員
国がマイナ保険証を進める狙いは「医療情報の共有化」。バラバラに管理されてきた私たちの治療や検査結果等をオンラインで結べば、医師はより多くの情報を基に治療を行える。

【賛成】 星野宗央 議員
マイナンバーカードの取得は任意。取得率が伸びないから健康保険証を一体化し、12月には廃止すること。現行の健康保険証の廃止はもつと慎重に対応するべき。

委員長・議長は採決に加わりません

陳情

件名	陳情人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
第1号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	群馬県労働組合会議 議長 石田 清人	産業観光生活環境常任委員会 賛成少数 0:6 不採択すべきもの	賛成少数 1:11(欠1) 不採択

【反対】 江口 樹 議員
都市圏と地方では地域の物価差があること、また最低賃金を上げることにより、国が支援するということは持続可能なものではなく、本陳情については不採択すべき。

【賛成】 星野宗央 議員
同じ賃金となれば労働人口の流出が抑えられる。時給1500円にすると一か月で約26万円。中小企業への支援策を拡充し、国民の生命とくらしを守るべき。

【賛成】 江口 樹 議員
子ども・子育て支援と、障がい者福祉の充実、自然環境や生活環境の保全、町民生活と産業振興の政策を優先した予算。本町の課題や特性に対応し、限られた財源の中で効率的な予算編成がなされている。

【反対】 鈴木美香 議員
学校給食費無償化の段階的措置の道筋がない。1人でも2人でもみながみ町の子ども。人口減少対策の一つとして、子育て世代の経済的、精神的負担の軽減となる次なる段階を示していただくべき時が今。

3月定例議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

議案番号	議案内容	議決結果		
諮問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	全会一致 適任との意見		
第4号	教育長の任命	全会一致可決		
第5号	教育委員会委員の任命			
第6号	旧一葉亭解体工事(第3期)請負契約の締結			
第7号	監査委員条例の一部を改正する条例			
第8号	課設置条例の一部を改正する条例			
第9号	職員定数条例の一部を改正する条例			
第10号	消防団条例の一部を改正する条例			
第11号	都市計画税条例の一部を改正する条例			
第12号	介護保険条例の一部を改正する条例		賛成多数可決 12:1	
第13号	印鑑条例の一部を改正する条例		全会一致可決	
第14号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例			
第15号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例			
第16号	水道事業給水条例及び布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例			
第17号	小口金融融資促進条例の一部を改正する条例			
第18号	町営住宅管理条例の一部を改正する条例			
第19号	空家等対策協議会設置条例の一部を改正する条例			
第20号	群馬県市町村公平委員会共同設置規約の変更に関する協議			
第21~22号	町道路線廃止・認定			
第23号	令和5年度一般会計補正予算(第6号)	賛成多数可決 10:2(欠1)		
第24号	令和5年度介護保険特別会計補正予算(第1号)			
第25号	令和6年度一般会計予算			
第26号	令和6年度国民健康保険特別会計予算		賛成多数可決 11:1(欠1)	
第27号	令和6年度後期高齢者医療特別会計予算			
第28号	令和6年度介護保険特別会計予算			
第29号	令和6年度水道事業会計予算			全会一致可決
第30号	令和6年度下水道事業会計予算			
第31号	副町長の選任			

【賛成】 阿部 清 議員
統合小学校建設は未来を担う子どもたちのために重要。厳しい財政状況の中、財源確保や財政健全化のため、あらゆる経費が見直され、限られた財源の中で住民生活の充実を図るための予算である。

【反対】 星野宗央 議員
協会けんぽなどの社会保険制度に比べて加入者の負担が重く、負担の軽減が必要。保険料を下げることはあっても、上げることもあってはほか。

国民健康保険

【賛成】 阿部 清 議員
令和7年には団塊の世代が75歳以上となり、高齢者人口は今後も増加。6年度は県内統一の保険料率が改定される。町からの支出は主に広域連合へ納付する負担金であり、運営上、必要な予算と認められる。

介護保険

【反対】 星野宗央 議員
生活保護世帯や町民税非課税世帯には軽減されるが、それ以外の住民の保険料は上がる。物価高騰で大変な暮らしの中での負担増となる。保険料の値上げに反対。

【賛成】 高橋祝朗 議員
医療費の適正化対策及び被保険者の健康増進事業の積極的な取り組み。被保険者の健康づくりのみならず、財源確保にも努めている。

後期高齢者保険

【賛成】 石坂欣也 議員
改定となる保険料は低所得者へ配慮され、介護給付費準備基金の取り崩しなど、負担軽減に努力している。新たな介護予防事業の財源確保にも努めている。

【反対】 星野宗央 議員
2024年度、2025年度で段階的に保険料が上がる。今は保険料の値上げをすべき時ではない。自治体に裁量がないことも問題。納めや



予算連合審査会

3月7日に2常任委員会合同の「連合審査会」を開催した。本会議で予算議決を行うために、審査会において質疑応答で詳細を審査する目的がある。

一般会計

歳入

質 地方交付税47億8000万円。前年度より1億5000万円増額。説明を求めます。

答 普通交付税について、実績に基づき精査し、見込みを増額した。

質 町税が減っているが、なぜ歳入総額が増えるのか。

答 地方交付税収入見積もりの精査、ふるさと応援基金を積極的に活用することで調整、増額した。

歳出

質 木育推進事業1364万円。増額分の内容は。

答 おもちゃ美術館の基本調査や基本構想策定に係る予算。

質 農村交流公園（遊神館）管理運営事業3230万円。売上見込みは。

答 約2000万円。

質 温泉施設改修等の補正予算は直近だけで約8300万円。今後のビジョンは。

答 施設継続のため必要な改修費を計上。改修費用と施設をどうするかはその先の議論。

質 移住機会創出事業3991万円。事業説明を求めます。

答 ターゲットを絞って取り組む。

質 久保污水处理施設維持管理事業（藤原地区）528万円。新たな事業か。

答 5年度まで下水道事業特別会計で計上し、不足分は一般会計から補填。6年度から下水道は企業会計になるので、浄化槽として一般会計に残す。

質 小中学校統合推進事業16億7696万円。資材高騰の影響は。

答 設計業者から30%程度の上昇が見込まれ、納入時期も震災と万博の影響で遅れる可能性があるかと聞いている。



国民健康保険特別会計

質 一般被保険者国民健康保険税は減額しているが。

答 加入者数を見込み、直近3カ年の平均を加味して算定している。

水道事業会計

質 水道管の老朽化など、今後維持管理費が増えるが、料金は上がっていくのか。

答 施設の老朽化が進行している。維持していくには料金改定も必要と思える。なるべく上げないよう企業努力したい。

連合審査会審査結果

審査の結果、一般会計と特別会計で討論があり、賛成多数で可決すべきものとなった。水道事業・下水道事業会計では反対・賛成の討論はなく、全会一致で可決すべきものとなった。



一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めもの。
執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。
定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

事前通告一覧

鈴木 美香 すずき みか

- ①新しい年度に向けての目標と庁舎内の接遇
- ②給食費無償化への次の段階と地域食材の活用
- ③一地域居住推進に向けて

茂木 法志 もぎ のりゆき

- ①災害等に必要避難所整備

河合 史将 かわい ふみまさ

- ①就任1年4ヶ月の成果 第三子給食費
- ②今後の高齢化社会における課題
- ③いはいはるこども園について
- ④災害時における迂回路の必要性
- ⑤みなかみ町消防団の今後

石坂 欣也 いしがき きんや

- ①デマンドバスの運行実現と誰一人取り残さない公共交通

高橋 市郎 たかはし いちろう

- ①人口減少時代に対応した町づくり構想

星野 宗央 ほしの かつひさ

- ①子育て支援
- ②大雪時の歩道の安全確保は



鈴木 美香 議員

町長 給食費の経済的負担の解消を 国の動きに注視

問 令和5年度の振り返りと、6年度力を入れていきたい施策は。

答 町長 本年度は町民生活及び町民福祉の向上と農林業や観光業の一層の充実を図った年。

注1 6年度は統合小学校の建設、オーガニックビレッジ宣言について、新規に取り組む予定。

※注1 有機農業に地域ぐるみで取り組む産地。

答 町長 地理的にも恵まれた町。交流人口の増加は移住・定住へ直結するもの。推進していく。

給食費無償化について

問 県では35市町村の中で、21市町村が小中学校の給食費を完全無償化。これは、教育環境の不等差を生みかねない。義務教育9年間で48万2400円の地域間格差を解消するのが行政の役割であり、責務なのでは。

答 町長 町は他の自治体にはない子育て支援事業を手厚く行っている。

給食費は、文科省を中心 nationwide で調査をしているところ。その動きに注視し、期待している。



教育環境の整備として小学校建設に優先的に取り組んでおり、未来を担う子どもたちによりよい教育環境を整備することは、ハード面になるが十分な子育て支援策と考える。

	月割額	年間合計	義務教育期間合計
小 学 校 (6年 間)	4,300	51,600	30万9600円
中 学 校 (3年 間)	4,800	57,600	17万2800円
義務教育期間(9年間) 総計			48万2400円



茂木 法志 議員

町長 福祉避難所は 福祉施設との協定を研究

問 能登半島地震発生後、町内における避難所整備について見直しや再確認したことは。

答 町長 避難所生活が長期化した場合、温かい食事等を提供できる避



町の防災用備蓄品

難所態勢やトイレ等の衛生対策や寒さ対策を研究していく必要がある。すぐできる事として、大型の赤外線灯油ヒーターの導入、毛布やマット等の備蓄数を増やすなどの対策に取り組むと共に、町内6か所の自主避難所の災害対策用備蓄物資について、在庫の総点検を実施し不足している物資については補充を行った。

問 町が指定する備蓄箇所6か所の備蓄品はどのような計算を基に算出して整備しているのか。

答 町長 50人が避難することを想定し、1日3回分の保存水、アルファ化米3日分をローリングストック方式で300人分の備蓄をしている。

問 プライバシー保護のための仕切り、女性への配慮、女性専用のスペースや個室、更衣室等の確保は。

答 町長 ワンタッチ式と段ボール組み立て式のパーティションを合わせ103張り整備。新たに開閉しやすいカーテン式のパーティションを24張り整備した。困難を感じた方や必要な支援に違いがあることを前提に、避難者のプライバシー、要介護者、女性や子育て家庭を守るための工夫を行いながら、誰でも安全で安心して過ごしていただける避難所の運営にこれからも努めていきたい。

※注1 使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定の食料を備蓄しておく方法。



問 ペット避難所の設置に対する考えは。

答 町長 ペットも家族と同じだと思っている。ただ衛生面、アレルギー、それが原因でトラブルになっは困る。外にペットスペースを確保することや、他の自治体の例も参考にしながら、検討しなければならぬ。

問 福祉避難所支援の備えとして町内施設との協定は。

答 町長 専門的な福祉施設との協定は研究、調査し、要件がクリアされれば協議。協力し合えればと思う。



河合 史将 議員

第三子給食費無償化は

町長 検討していきたい

問 第三子給食費無償化は。

答 町長 第三子以降全てを完全無償化とすると、試算としておよそ1100万円かかる。行財政改革を進めて、新たな財源確保にもしっかりと努めた中、6年度に検討していきたい。

4万円に拡大した。町長に就任してから、令和5年度に限度額を5万円まで増額した。

問 福祉除雪の今後の取り組みは。

答 町長 他の自治体の例も参考にし、方策を考えていきたい。

いはいはることも園

問 以前、委員会にて民営化について聞いた。その後の進捗は。

答 町長 現段階で明確な民営化への案を示すことは難しいと感じており、課題と解決策の検討を始め、町の実情に合った方向性を示していきたいと考えている。

災害時の迂回路

問 災害時の迂回路の必要性は。

答 町長 迂回路は必要だと考える。

問 町長が議員時代に猿ヶ京地区の迂回路について質問したが、考えは。

消防団の今後

問 5年後、10年後を見据えた考えは。

答 町長 4年間で57名減少し、実団員は524名。今後は消防活動の軽減や、処遇改善を実施することにより、消防団員を確保しつつ退団希望団員に対しては、機別消防団員として継続をお願いすることで、団員の確保に取り組んでいきたい。

※注1 能力や事情に応じて特定の活動にのみ参加する消防団員。



石坂 欣也 議員

みなかみ版交通システム構築を

町長 意見を聞き、方法を考えたい

問 公共交通空白地の解消に向けた取り組みは。

答 町長 バス路線の減少や減便、タクシードライバーの高齢化などによる台数の減少など、高齢者をはじめとした住民の利便性低下が大きな課題となっている。また、駅からの乗り継ぎ、いわゆる二次交通の少なさも、観光の町として大きな課題。デマンドバスの運行は一つの大きな手段であると考えている。

空白地であるなしにかかわらず、公共交通の確保は大きな課題と認識している。

バス運行赤字部分の費用の一部補助、福祉お出かけタクシー事業、相乗りタクシーでの買い物支援、路線バス通勤通学定期券購入補助金事業を開始し、定期券購入費用

の3分の2を補助。みなかみ町民割引乗車登録証を発行し、利根沼田エリアの指定路線バス利用は2分の1助成している。

問 どういう事業が有効か、精査、検討して進めていきたい。

答 町長 住民生活の基盤としての公共交通。目的と連携した取り組みは。

問 医療機関や福祉施設でのデイスーパービス等は送迎が充実している。今後も維持していただきたい。

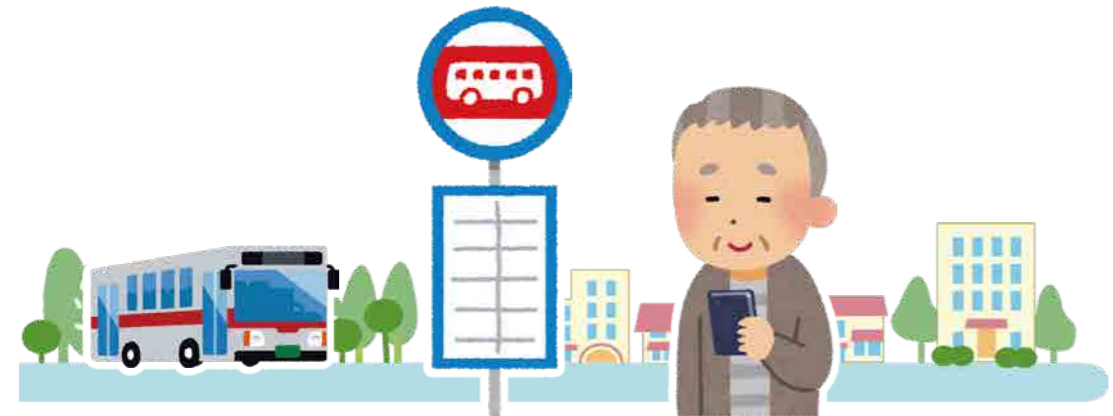
また、ライドシェアの動向を見極めながら、新たな交通手段の選択肢として考えていく。

問 全町民対象のアンケート実施は。

答 町長 アンケートを取れば8割は「あったほうがいい」。しかし、買い物タクシーを試験的に実施しても利用者は1人か2人というのが実際。アンケートよりも「町長と語る会」はどこへでも行くので、担当職員も同席させた中で直接意見していただければ有難い。個別の案件でも結構です。

問 みなかみ版交通システム構築は。

答 町長 行政として、弱い立場の方のためにしっかりと手を差し伸べていくのが役目と考えている。いろいろと意見を寄せていただく中で、方法を考えていきたい。





高橋 市郎 議員

公立も私立も保育・教育は同じ

町長 公平に支援したい

問 町長の考える、住みたい、住みたくなる町とは。

答 町長 町の潜在的な魅力、資源を皆さんと共に発掘し、いろいろな形で注目していただける町にしたい。

問 水道事業の現状と将来に向けた整備計画については。

答 町長 安心・安全な水道水の供給を維持するため、老朽化施設等の改良を計画にそって進めていきたい。

問 上毛高原駅を核としたまちづくり構想については、町全体のまちづくり構想、ビジョンを持って策定すべきでは。

答 町長 上組区の要望を受け、駅周辺全体を見据えて議論を深め、動き出すよう課長会議で指示をした。町全体の将来像を描いた「全体構想」も併せて検討していきたい。

問 子育て環境について。町内こども園三園は、公立・私立で違うとはいえ、子どもに対しての保育、幼児教育は同じでなければならぬと思うが。

答 町長 ハード・ソフト両面において、子育て支援の中で公平性を保ち、一生懸命支援したい。



にいほるこども園。年齢や成長に適した外あそびは大切です。季節にあわせて、プールや雪あそび、お散歩も行われています。



星野 宗央 議員

保育料の無償化費用は 町長 概算負担額が1630万円



問 0歳から2歳までの保育料無償化の費用は。

答 町長 概算負担額が1630万円。

問 無償化について町長の考えは。

答 町長 保育料は世帯所得に応じて負担していただいております。一定以上の収入がある世帯への支援拡大は、在宅保育者等との公平性を考えなければなりません。

無償のところと比べれば十分でないかもしれないが、できることは今しっかりと取り組ませていただいている。

問 義務教育は無償。食育を学校教育の一環とするならば、給食費は無償でもよいのではないか。



答 教育長 食育をしているから給食も無償に、それは違うかなと思う。給食の無償化と義務教育の無償化は一致しない。

問 第3子の給食費無償化に取り組まれた理由は。

答 町長 無償化を目指す公約に出させていただいた。第一弾として第3子の無償化を実現した。

問 予算と人数は。

答 学校教育課長 中学校、小学校、こども園 含め84人、423万1320円。

問 全部無償化にすると幾らか。

答 学校教育課長 令和4年度の賄い費決算額で6887万2242円。

大雪時の歩道の安全確保

問 歩道の除雪は。

答 町長 特に除雪は行っていません。地元の方々、近所の方々のご協力なくしては難しいので、今後ご理解いただいたうえで、ご協力いただきたいと思います。

問 通学路の除雪については。

答 教育長 保護者や地域の方の善意に頼っているのが現状。

問 水上地区の歩道は消雪パイプの水が飛んで歩道が凍る。水はけが悪いところの対応は。

答 地域整備課長 消雪施設は約50年前に設置され、町等で更新工事を行っており、できるだけ解消している。

問 観光客の安全のためにも、歩道の除雪や安全確保がとても重要。歩道の安全確保にも力を注いでいただきたいが。

答 町長 地元の皆様方のご協力です。スムーズに歩道が除雪できるように体制づくりにも努めていきたい。

活動報告

総務文教
厚生
常任委員会

2月14日 総文委員会レポート

課題 消防団員の処遇改善へ

はじめに

わが町の消防団員は365日昼夜を問わず、火災や災害から町民を守るため日々活動に動まれている。その負担と苦労は何事にも代えられないものであり、消防団の処遇改善は急務であるということから、当委員会は消防団員における報酬額の改正について経過を注視してきた。

また、団員報酬の支払方法についても課題があることから、令和7年度を目標に団員個人の銀行口座へ直接支給を行うっていくとの説明が担当課よりあった。



消防（出初式）

改訂前	
団員報酬	年額 24,000円
防災手当	年額 10,000円
出動手当	1回 1,500円
訓練手当	1回 1,000円

改訂後	
団員報酬	年額 37,000円
出動報酬	4時間未満 1回 4,000円 4時間以上 1回 8,000円
訓練報酬	1回 1,000円

施行日 令和6年4月1日

委員長のまとめこれから
当町はいまでもなく、人口減少化の地域かつ群馬県の1/8の面積を有する広大な地域であることから、町民の安心・安全な暮らしのために今後の消防団の積極的な活動は必須であると心得る。そのため、この度、各団員への処遇改善が実現されたことは喜ばしい。また、消防庁が示す団員報酬の個人への直接支給についても、令和7年度を目途に実現させていこうとする当局の姿勢は評価すべきものである。

一方で、団員数の減少が進んでいることから、機能別消防団の確保と、

課題 月夜野地区学童クラブの方向性

はじめに

令和8年4月より月夜野地区の小学校が統合され、月夜野小学校の校舎が現桃野小学校地に新設される予定である。それに伴い、町は町民からの意見を踏まえ、既に月夜野地区にある2つの学童保育施設を1つにまとめ、隣接地である利根商屋内プール跡地へ設置する方向で進めるとの報告を受けていた。

しかし、担当課より「現在の第2学童クラブの増設で対応していきたい」と報告があった。

子育て健康課の説明概要

当初の見積もりに対し、資材等の高騰が見込まれ、財政的に学童クラブの新設は現実的ではなくなってしまった。

また、課題とされていた安全面の確保において、悪戸・矢瀬線の信号機設置が完了し、第2学童クラブへ向かう道路横断の安全性が確保され

先を見据えた消防団の編成も検討していく必要がある。

た。そして、今まで同様に小学校まで学童指導員が迎えに行くなど、子ども達の安全確保が配慮できる。

さらに、増員等による対応は施設改修等を行うことで、小学校開校時に合わせ現在の第2学童クラブ1か所で開催できる見通しが立った。

これらを勘案し、現在ある第2学童クラブの増設での活用が望ましいと判断した。

委員と担当課のやり取り

質 既存施設を利用することは、大事に使う、経費削減、共によいことだと思う。先ほど白紙に戻してとあったが、今後新設の計画はないのか。

答 安全面の確保を徹底し既存の学童クラブを増設できるなら、新たに建設する必要はない。

質 これまで町は「隣接地に学童を新設」といつてきたのに白紙に戻すのはおかしい。

活動報告

総務文教
厚生
常任委員会

3月8日 総文委員会レポート

課題 県の行財政診断と公共施設のあり方

財政課の説明概要

群馬県による行財政診断で様々な指摘を受けた。経常経費等コストの抑制については、特に、合併してか進まなかった公共施設統廃合の必要性が大きいと指摘を受けている。

委員と担当課のやり取り

質 県よりスポーツ関係施設や集会場等の公共施設が他市町村よりも大幅に上回っていると指摘されているが、それらを減らす計画を具体的に考え進めるべきでは。

答 できるところから進めていく。

質 町の温泉施設は指定管理料や修繕費等で公的負担が大きい

が、町民の福祉にとって大切で利益がすべてではない。施設の経費と収益のバランスが重要で、その基準が重要と考えるが。



設を閉じてしまえばよいというものではない。重要なことは、運営の維持管理費と収益、公益性のバランスを踏まえ、どこまでが許容範囲なのか、しっかりと検討することである。

答 既存施設が使用できるのであれば、特に新しいものを作る必要はないと考えている。また不審者等に対する不安は、学童指導員が小学校まで迎えに行き、一緒に学童まで登所することで、解消できると考えている。財政状況がとても厳しい中、大きなものを造るということに対して、再検討した結果となる。

質 教育に関わることは予算のことだけを考えてやることではない。

答 予算の検討は重々した。場所が遠い、安全面が心配されるといわれるかもしれないが、そこは最優先で考え、最善の努力をしたいと思っており、施設が新しいかではなく、内容がよいかどうかも考えた

委員長のまとめこれから

安全性に配慮し、今ある第2学童施設を活用したいと当局からの説明を受けた。確かに新設した方が距離は短い、放課後、学校へ学童指導員が迎えに来て、かつ悪戸・矢瀬線交差点の信号機設置により、施設ま

での移動の安全性は高まっていることは事実である。昨今の物価高騰と当町の財政状況を鑑みても、今ある施設を拡大・利活用すべきと感じる。教育的な効果からみても両者相違ないと感じる。しかし、当局はこれまで「新設する」と当委員会にて説明してきた。あらゆる状況を鑑みれば仕方ない一方で、新設に期待をしていた町民がいることも事実。それらを踏まえ、よりよい学童施設の運営になるよう当局の尽力に期待し、当委員会でもより注力していきたい。



その他の議題

- ・戸別受信機
- ・旧新治中学校跡地利用
- ・高齢者保健福祉計画案
- ・その他

2月9日に臨時議会が開催された。契約1件、条例1件、補正1件を審議した。

2月臨時議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

議案番号	議案内容	議決結果
議案	第1号 上の平浄水場系統ポンプ場及び配水池設置工事請負契約の締結	全会一致可決
	第2号 手数料徴収条例の一部を改正する条例	
	第3号 一般会計補正予算(第5号)	



まちの匠とは、文化、伝統、自然、生活などの知識や技能、技術を持つ方のことです。
みなかみ町の匠を紹介します。



匠ナンバー

5

手吹きガラスの匠

山之内 亮次 さん
Yamanouchi Ryoji (47歳)

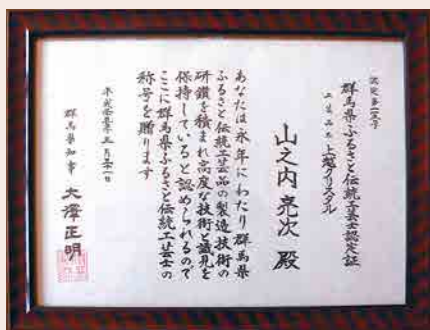


献血回数の節目に贈呈される記念品



薄口のグラス 手に持つとふわっと軽いです

旧月夜野町。
——生まれたところ、育ったところ
——どんな匠なの
上越クリスタル硝子(株)にて、ガラス製品の開発と製造をしてきました。昨年10月に会社が廃業し、現在は製造に関わることはありません。今は違うものを探しています。



穏やかに自己紹介される山之内さん。でも作品と製造のことを伺いますと、それは熱く語られます。根っから職人さんなのです。習得された技が、行く路を照らす明かりになることを願います。

——匠になった経過は
小学生のとき、同社の工場を見学して、おぼろげながらも「ものづくり」が好きなのかなあと感じていました。その後恩師の勧めもあり同社に就職しました。
夏の工場内は50度を超える過酷な環境でしたが、歯を食いしばりながら親方の背中を追って、技を習得してきました。
また自分の技術は後輩へ継承し、会社全体でよりよい作品が生まれるよう努めてきました。
——ガラスの楽しみ方をみなさんへ
例えば、ガラスは口づくりの厚みによって、美味しさが違ってくると思っています。薄いもの、ぽつぽつとしたものを比べてみて、お好みを探すのも楽しいです。

活動報告

産業観光
生活環境
常任委員会

1月17日 産観委員会レポート

課題

利根川上流流域下水道(奥利根処理区)維持管理負担金の単価改定について

利根川上流流域下水道(奥利根処理区)とは

奥利根処理区は、沼田市とみなかみ町を処理区域とする流域下水道である。

周囲の山々から流れ出す豊富な清流を保全すると共に、生活環



境を改善するために流域下水道が計画された。昭和52年度に事業着手し、56年4月には沼田市と旧月夜野町区域が、さらに57年4月には旧水上町区域が供用を始めた。現在、水処理施設は全て整備済みで、処理場は3系列処理能力2万1300m³/日で運転処理している。

上下水道課の説明概要

「令和6年度からの維持管理負担金について経緯と背景」
県の流域下水道会計は令和2年度から公営企業会計に移行し、その際、構成市町との覚書を締結し、3年の単価制を導入した。物価高騰により電気代を含めた維持管理費が急激に変動しているため、維持管理負担金を2市町と協議し、合意された単価(107円/m³)に改定となる。

委員長のまとめとこれから

奥利根処理区の維持管理負担金を含め、下水道全般の維持管理については、財政状況も厳しく、今後町民への負担が増加していくことが十分に考えられる。
町の下水道会計は令和6年度から公営企業会計になるが、委員会としても公営企業会計の中身を把握できるように研修を重ねたい。奥利根処理区に関しては、定例会に出席を求められるので、沼田市や関係各所と意見交換を行いながら積極的に提言をしていきたい。

その他の議題

- ・ごみ分別表と分別ガイド
- ・赤沢スキー場、三峰の湯 現状報告
- ・町営住宅管理について
- ・鳥獣処理施設について
- ・その他



★この頁は町民皆様にご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加下さい。
★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いたします。

参加のきまり

下のハガキまたは、裏面の FAX 用紙などに、クイズの答え・住所・氏名・議会だよりの感想を記入し、お送りください。
※下のハガキは、裏面を記入後に必ずのり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑 318
みなかみ議会だよりの「クイズ・感想」係
締切：令和6年5月31日(当日消印有効)
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

3月3日のひな祭りは何の節句とよばれていますか。

- Ⓐ 桜の節句 Ⓑ 梅の節句
- Ⓒ 桃の節句

前回の議会だよりの77号ふるさとクイズの正解は「Ⓐ6人」でした。

379-1393

群馬県利根郡みなかみ町後閑318

みなかみ議会だよりの「クイズ・感想」係

料金受取人私郵便
沼田局承認
1024
差出有効期間
令和7年3月31日まで
(切手不要)

— 記入欄は裏面にあります —



ミスミソウ (撮影場所：布施)

議会傍聴のご案内

規則を守り傍聴してください

…………… 流れ ……………

- ①受付にて「受付表記入(住所・電話番号・氏名・年齢)」
- ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
- ③傍聴席へ
- ④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了

※飲食・録画・録音・写真撮影は禁止

次回の定例会は

6月5日(水)～
6月13日(木)の予定

場所：役場本庁舎3階議場
時間：開会は9時
席数：34席
【問合せ先】議会事務局
☎25 - 5023

議会だよりの編集特別委員会

- 委員長…鈴木 美香
- 副委員長…星野 宗央
- 委員…江口 樹
- 石坂 欣也
- 阿部 清
- 編集アドバイザー
利根川太郎
- 編集モニター
利根商業高等学校生徒



3月議会は、予算議会となっています。令和6年度予算総額235億7200万円と、合併してからの過去最高額を更新しました。特集では14人の議員が課題や考えを述べています。住民の皆さまにもご確認をお願いいたします。

今議会の一一般質問は、6人の議員より行われました。読みやすくなりやすい紙面にするために、議会だよりの委員も一生懸命に取り組んでまいります。

3月になってまさに三寒四温で、温かいと思えば雪が積もるほどの寒さが戻っています。インフルエンザも流行してきています。新型コロナも依然として注意が必要です。感染予防対策に手洗い、うがいをして元気に春を迎えましょう。春が待ち遠しいですね。

(星野宗央)

編集後記

感想

50代 中学生がこれからのみなかみ町を考えていることを知りました。若者に町のことをもっと考えてほしいです。まちな角コーナー大好きです。素敵な技術をつないでほしいです。(布施)

20代 中学生議会に感心しました。県外の方は車で来ない方も多く、タクシーが少なく困っています。(月夜野)

利根商編集モニターアドバイス

77号15ページ、字が小さい。読みづらい。

字の大きさや文字量は、読み手の主観や慣れにより、受け取り方が様々です。今号は20ページにアンケートがあります。皆様からの回答をお願いいたします。

群馬県町村議会議長会表彰



森健治議員、石坂武議員、小林洋議員
群馬県町村議会議長会より10年表彰を受けました。

感想

皆さんの
感想

ハガキの方は、この線で切り取り

内側へ貼り合わせて投函してください。

← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127



○クイズの答え ⇒ _____

○差出人住所 ⇒ 〒 _____

○差出人氏名 ⇒ _____
(ふりがな)○年代 ⇒ ・～10代 ・20代 ・30代
(該当項目に○印を
付けてください) ・40代 ・50代 ・60代
・70代 ・80代～

○議会だよりの感想

○アンケートにご協力ください。(あてはまる□にレを記入してください)

14ページの文字の大きさは 小さい ちょうどよい14ページの文字量は 多い ちょうどよい 少ない

のりしろ

のりしろ

のりしろ